

おすすめ書籍のご紹介

大泉 newspaper NO.119(2016.11.1 発行)

不妊治療の基本に関する本



- ① 基本の検査について表や図を用いながらわかりやすくまとめられています。基本がすべて網羅され、最初の一冊に望ましい本です。

(浅田義正・河合蘭 著「不妊治療を考えたなら読む本-科学でわかる妊娠への近道」ブルーバック新書)

- ② 医師のみでなく、胚培養士、看護師、臨床心理士、鍼灸師など不妊治療に関わるスタッフが携わっています。医学的に解説されていますが、読みやすくチャートでもまとめられています。病院や心理面、費用についてもまとめられた一冊になっています。(ニプス編集部+ナース専科編集部「不妊治療ステップアップベストガイド」エスエムエス)

- ③ 珍しい出産専門ジャーナリストという立場からまとめられた一冊。女性が妊娠、出産の時期を人生設計のなかでどう考えていくのか。“正確な知識を得ることが大切である”という作者のメッセージが込められています。妊娠をまだ希望されていない方であっても女性であれば一度は読んでいただきたい本です。

(河合蘭 著「卵子老化の真実」文春新書)

男性不妊に関する本



- ① リプロダクションクリニック大坂の石川智基院長が、わかりやすく男性不妊について書いています。男性不妊症に関連する本は少ないですが、精子の数やホルモンのことなど基本的な内容から治療についてまでまとめられている一冊です。(石川智基 著「男性不妊症」幻冬舎)

- ② 聞きたくても聞けないような男性の疑問、都市伝説のように伝わっていた疑問にも答えられており、他の本とは違った内容になっています。著者である泌尿器科の岡田弘先生のブログもとても興味深くまた楽しく拝見できるので、一度見てみてはいかがでしょうか？男性におすすめです。(岡田弘 著「男を維持する『精子力』」ブックマン社)

心理・ライフスタイルに関する本

①



②



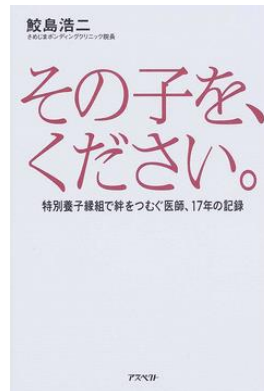
- ① 海外の本を和訳した一冊です。日本とライフスタイルや文化の違いを感じますが、自分の気持ちに向き合うテクニックがふんだんに書かれています。自分で出来るなと思うことから取り組むきっかけになるポイントがまとめられています。
(バーバラ・ブリッツァー 著 久保春海 監修「不妊ストレスにさようなら」創元社)
- ② 生殖工学博士という立場から、治療だけでなく女性の一生という大きな時間枠でまとめられた内容です。分かりやすくとても読みやすい一冊になっています。
(香川則子 著「私、いつまで産めますか？」 WAVE 出版)

治療の終結に関する本

①



②



③



- ① NPO 法人 fine で自身も不妊治療を受け、結果が出ず治療を終結した経験のある松本亜樹子さんによって書かれています。治療の内容だけでなく、当事者ならではの率直な思いや気持ちの変化が綴られています。
(松本亜樹子 著「不妊治療のやめどき」 WAVE 出版)
- ② 著者はさめじまボンディングクリニック 鮫島浩二院長。あんしん母と子の産婦人科連絡協議会にも携わっておられます。実際養子縁組された子どもや家族の現実と著者の関わりが丁寧にまとめられています。
(鮫島浩二 著「その子を、ください。」 アスペクト)
- ③ 著者の吉田奈緒子さんが実際に養子縁組を受けた過程や法律や手続きなどをまとめています。解説書としても体験談としても読める内容です。
(吉田奈穂子 著「子どものいない夫婦のための養子縁組ガイド」 明石書店)

これから寒い季節になってきます。暖かいお部屋でゆっくりと読書の時間などもうけてみてはいかがでしょうか。

新たな発見があるかもしれません。本を選ぶときの参考になさってください。

(本にかかっている治療法の中に、当院が採用していないものもあります。医師と相談してください。)